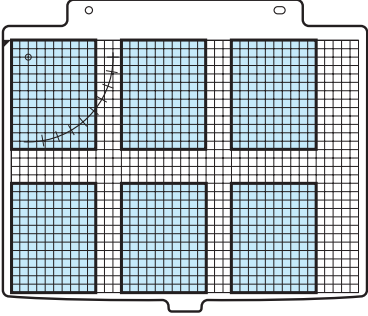
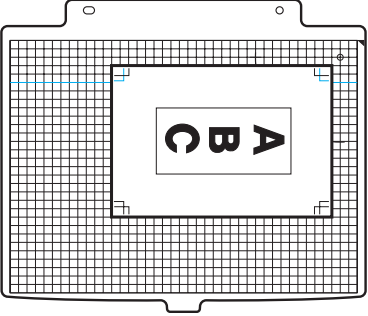
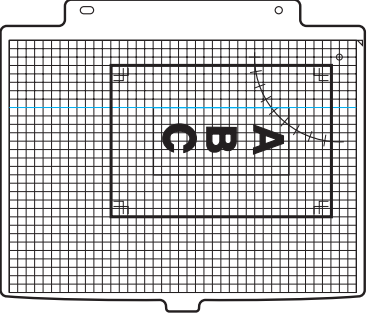
原稿ガイド　取扱説明書

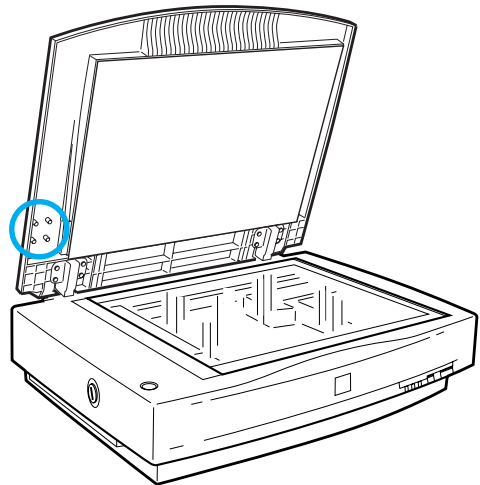
本スキャナには、原稿をセットするための補助ツール［原稿ガイド］が付属しています。

<table>
<tr><th colspan="2">内容物</th></tr>
<tr><td>□原稿ガイド（グリッド）

グリッド線が入っています</td><td>□原稿ガイド（クリア）

グリッド線は入っていません。必要に応じて、常用するセット角度に合わせた線を書き込んでいただいても結構です。</td></tr>
<tr><td>□ガイドピン（2 本）*</td><td>□アジャストピン（2 本）*</td></tr>
</table>

* 使用しないピンは、スキャナの原稿カバーの内側にある穴に差し込んで保管することができます。

Printed in Japan 00.XX-XX

4012356-00
XXX

原稿ガイドを使用するメリット

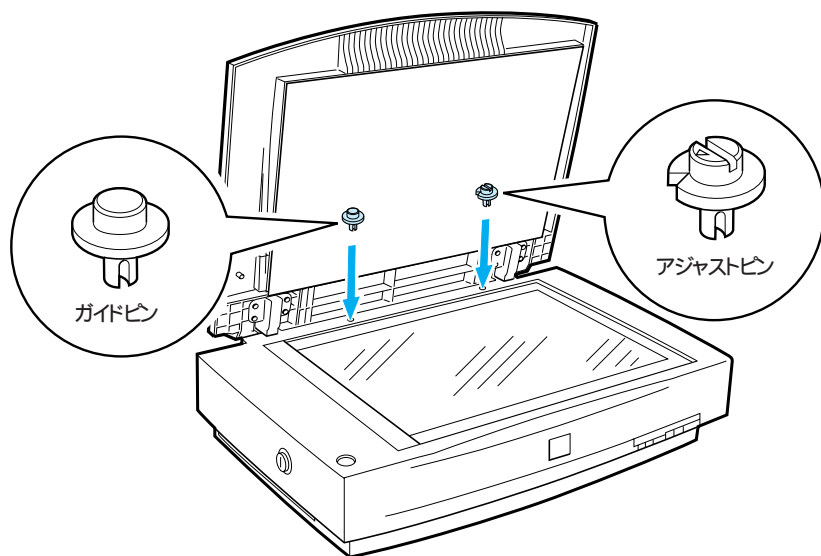
原稿ガイドは、原稿をセットするための補助ツールです。原稿のセット方法は主に3通りあり、それぞれ次のメリットがあります。

セット方法	メリット	参照先
原稿の端面を原稿ガイドのグリッド線に合わせてセットする	原稿の位置合わせ・押さえとして使用できます。 例えば複数枚の原稿をセットする場合、すべての原稿を同じ角度でセットすることができます。 また、取り込んだ画像が斜めになっていた場合の角度調整が、比較的容易です。	P.3
原稿上のトンボ（または直線）を、原稿ガイドのグリッド線に合わせてセットする	原稿をまっすぐ取り込むことができます。（直線を比較的まっすぐ取り込むことができます） また、取り込んだ画像が斜めになっていた場合の角度調整が容易です。	P.5
原稿ガイド（グリッド）のセット角度をスキャナの走査角度に合わせた上で、原稿ガイド（クリア）を併用してセットする	直線をより精度良く取り込むことができます。（原稿上の直線やトンボと、スキャナの走査角度をほぼ一致させることができます）	P.8

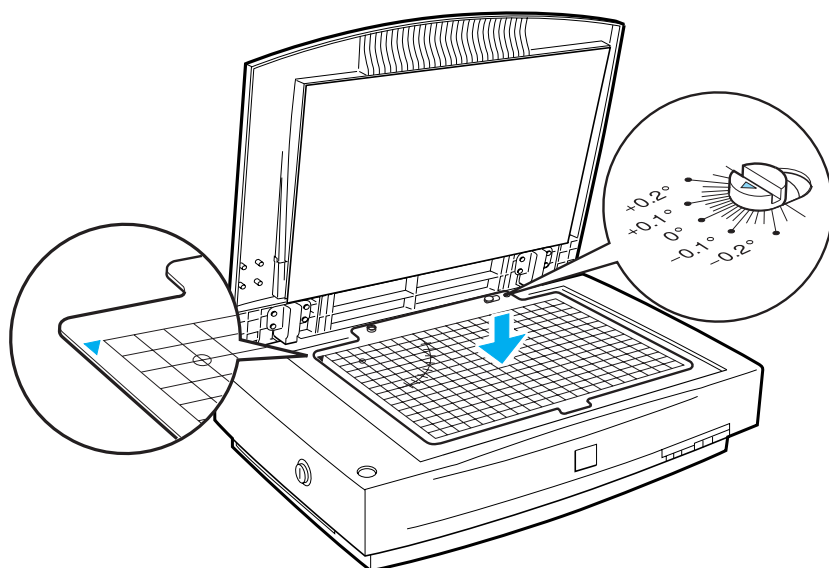
原稿の位置合わせ・押さえとして使用する方法

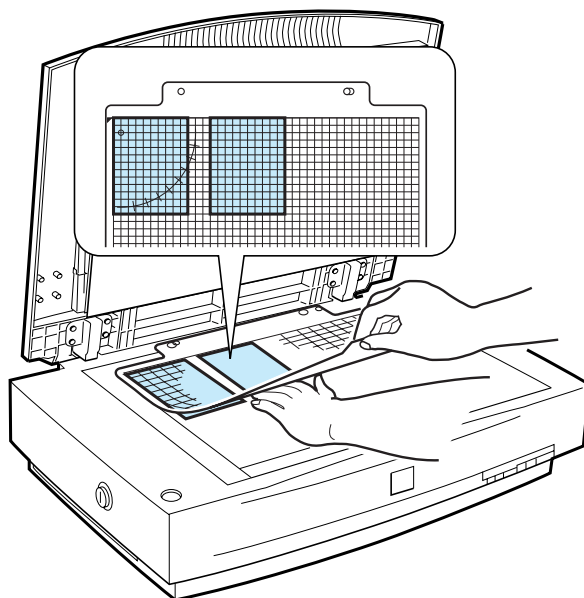
1

スキャナにガイドピンとアジャストピンを差し込みます。

アジャストピンは、ピンの矢印がガイドピンの中心を向くようにに差し込んでおいてください。

2

原稿ガイド（グリッド）を、2 本のピンに合わせてセットします。

原稿ガイドの長穴が、アジャストピン側になるようにセットしてください。

原稿の取り込む面を下（ガラス面）に向け、原稿ガイドとガラス面の間にはさみ、端面を原稿ガイドのグリッド線に合わせます。

原稿の位置を合わせたら、手を抜きながら原稿ガイドを静かに閉じます。この時、原稿の位置がズレないようにご注意ください。

この方法で合わせにくければ、原稿ガイド（グリッド）を外して裏返し、原稿をテープで貼り付ける方法もあります。この場合、テープは最低 2 ヶ所以上に貼ってください。

スキャナの原稿カバーを静かに閉じます。

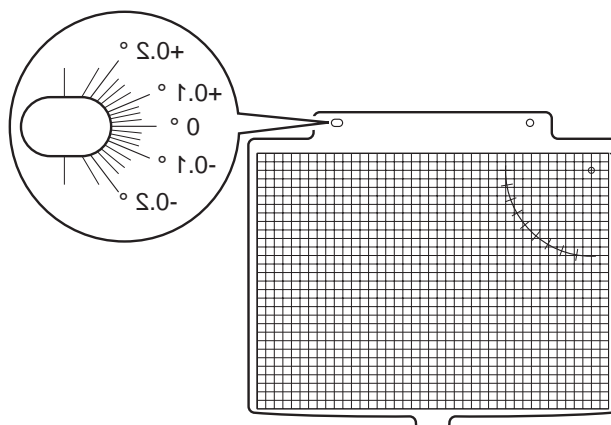
EPSON TWAIN Proで画像を取り込みます。

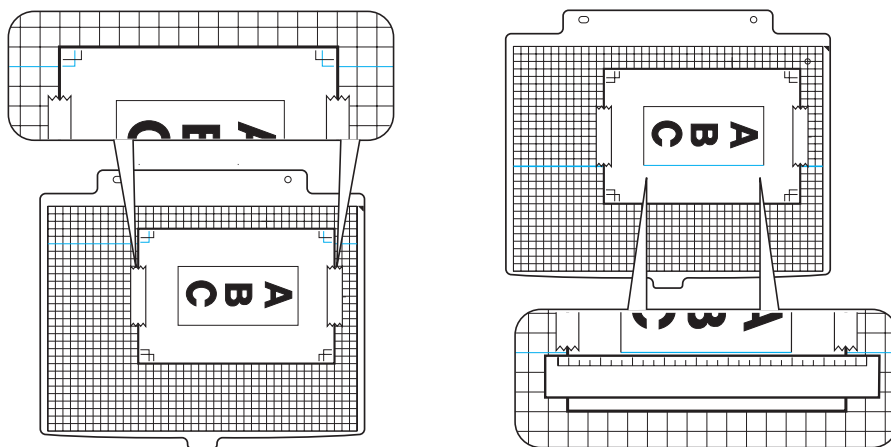
取り込みの詳しい手順については、スタートアップガイドをご覧ください。

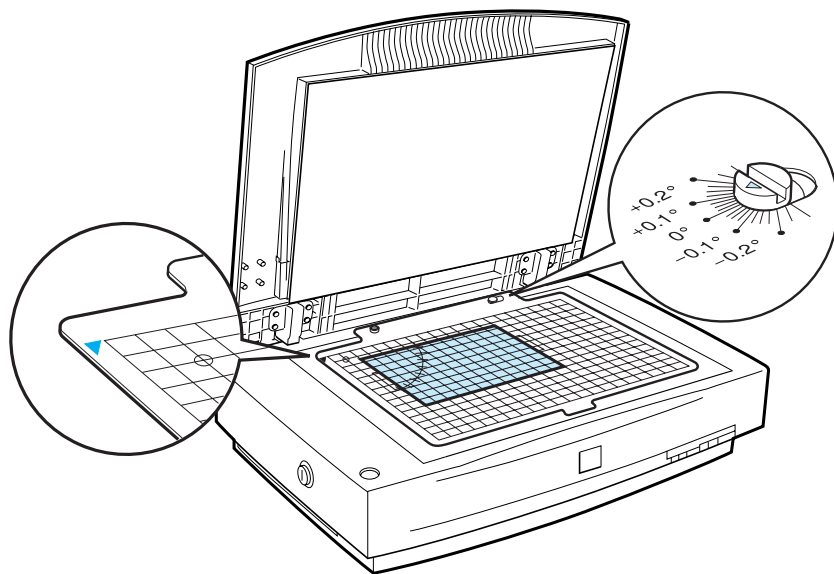
取り込んだ画像が斜めになっていた場合は、グリッド線を目安にして、原稿のセット角度を微調整してください。

トンボ（または直線）をグリッド線に合わせる方法

1 原稿ガイド（グリッド）を裏返し、机の上などに置きます。

原稿ガイド（グリッド）をスキャナにセットしてある場合は、スキャナから外してください。

2 原稿のトンボ（または直線）を、グリッド線に合わせて原稿ガイドの上に置き、テープで固定します。

定規を使用すると、位置を合わせやすくなります。
テープは、最低 2 ヶ所以上に貼ってください。

3 原稿が下になるように、原稿ガイドをスキャナにセットします。

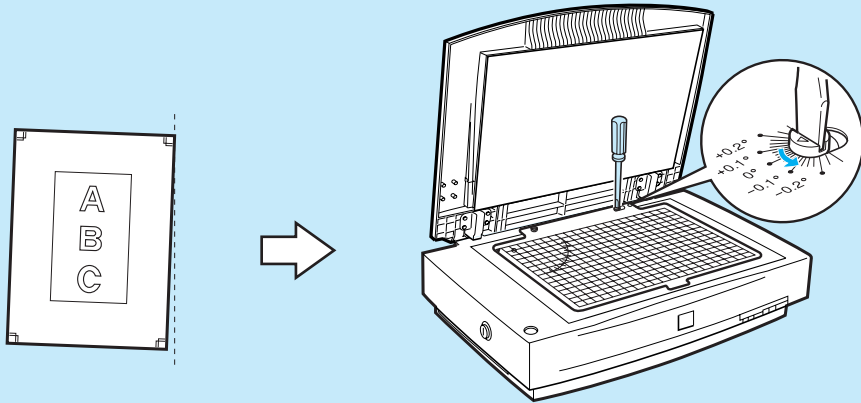
原稿ガイドの長穴が、アジャストピン側になるようにセットしてください。

スキャナにガイドピンとアジャストピンを差し込んでいない場合は、3ページの 1 を参照して差し込んでおいてください。

4 スキャナの原稿カバーを静かに閉じます。

5 EPSON TWAIN Proで画像を取り込みます。

取り込みの詳しい手順については、スタートアップガイドをご覧ください。

取り込んだ画像が斜めになっていた場合は、マイナスドライバでアジャストピンを回し、原稿ガイドの角度を調整してください。アジャストピンの調整位置は、必ず記録しておいてください。

＜調整例＞

角度を調整したら、再度取り込んで確認してください。

原稿の直線とスキャナの走査角度を合わせる方法

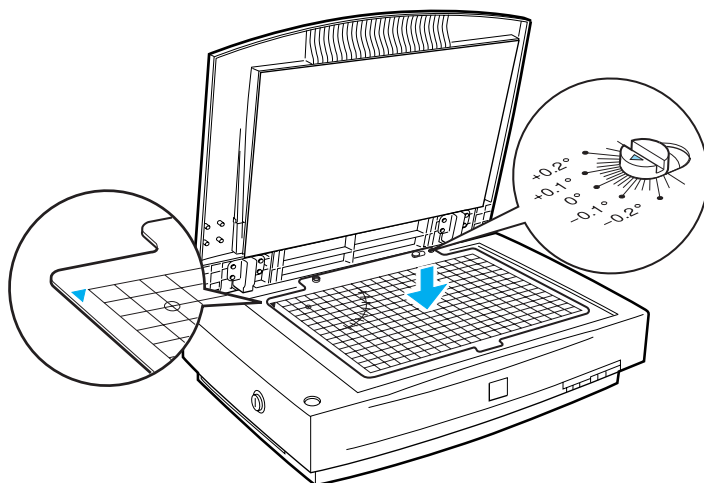
ここでは、原稿に描かれている直線（またはトンボ）と、スキャナの副走査との角度が一致するように、原稿をセットする方法を説明します。
図面や版下などの取り込みで、直線が斜めになってしまう場合に有効です。

原稿ガイドの角度調整

まず、原稿ガイドのセット角度を、スキャナの副走査の角度に合わせて調整します。

1

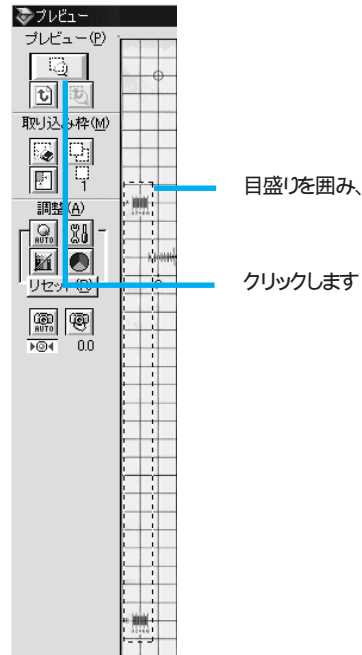
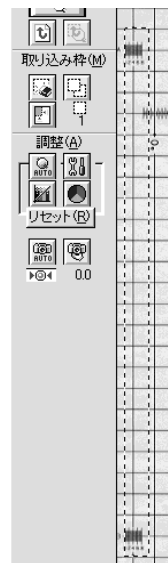
原稿ガイド（グリッド）を、2 本のピンに合わせてセットします。

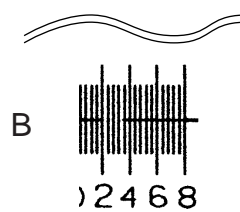
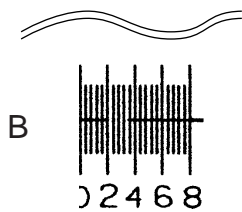
原稿ガイドの長穴が、アジャストピン側になるようにセットしてください。

スキャナにガイドピンとアジャストピンを差し込んでいない場合は、3ページの ①を参照して差し込んでおいてください。

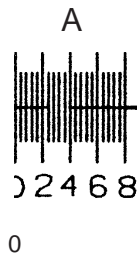
EPSON TWAIN Proで、原稿ガイド（グリッド）に描かれている目盛りを取り込みます。

1 EPSON TWAIN Proを次のように設定し、プレビューします。

原稿種　　　：原稿台
イメージタイプ：8bitグレー（標準）
出力機器　　：線画出力
解像度　　　：800dpi

2　プレビューウィンドウで、①原稿ガイドの目盛りの部分を取り込み枠として指定し、②ズームプレビューします。

3　2 つの目盛りの、それぞれ左側に取り込み枠の左側を合わせます。

4　［EPSON TWAIN Pro］画面の 取り込み ボタンをクリックして取り込みます。

取り込んだ2つの目盛りの位置がそろっていない場合は、アジャストピンを回して原稿ガイド(グリッド)のセット角度を調整します。

<アジャストピンの調整方法>

1　取り込んだ画像の左端に位置している目盛りの数値を、それぞれ確認します。
目盛りのピッチは 0.4 です。

2　次の計算式に従い、調整角度を算出します。

$$\text{調整角度} = (\text{目盛り A の数値} - \text{目盛り B の数値}) \times \frac{0.1^\circ}{0.4\text{mm}}$$

上記計算式を簡略にすると、次のようになります。

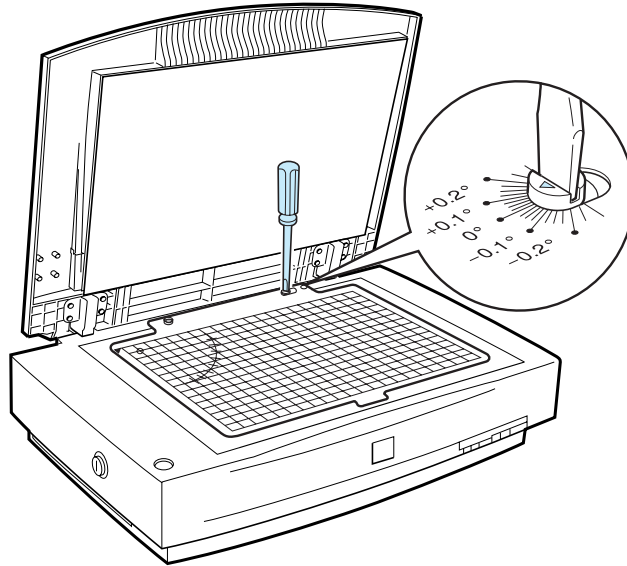
調整角度＝(目盛り A の数値ー目盛り B の数値)÷ 4

< A の数値が 0、B の数値が 0.4 の場合の例>

調整角度＝(0 － 0.4)÷ 4
　　　　＝－ 0.1°

3　マイナスドライバでアジャストピンを回し、角度を調整します。
計算結果がマイナスの場合はマイナス側　プラスの場合はプラス側に回します。

＜例＞

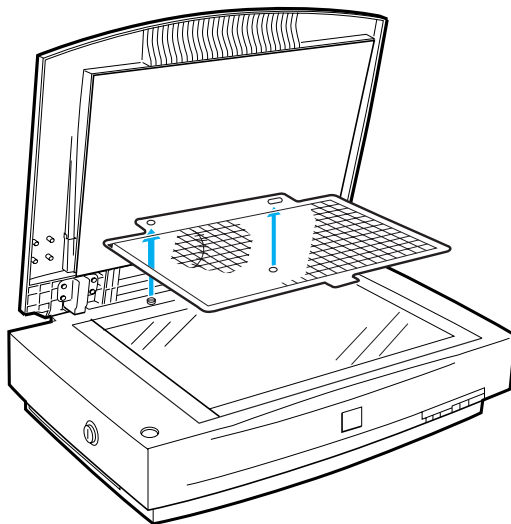
4

❷ の手順をもう一度繰り返し、2つの目盛りの同じ数字の位置がそろっていることを確認します。

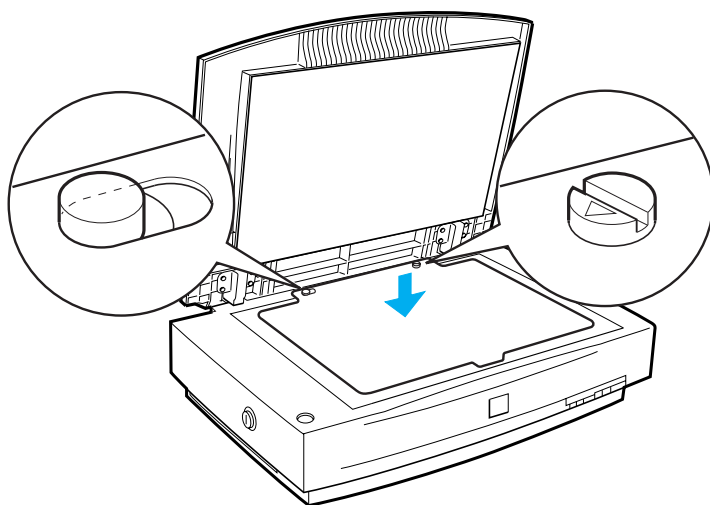
数字の位置がそろっていれば、調整は終了です。そろっていない場合は、計算を間違えていないか確認の上、調整し直してください。

ポイント

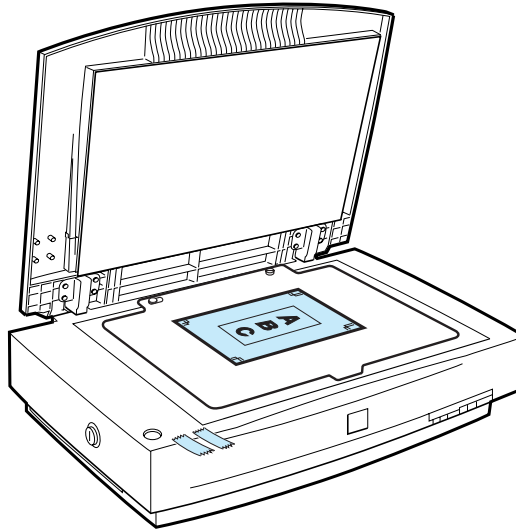
アジャストピンの調整位置は、記録しておくことをお勧めします。

原稿のセット方法

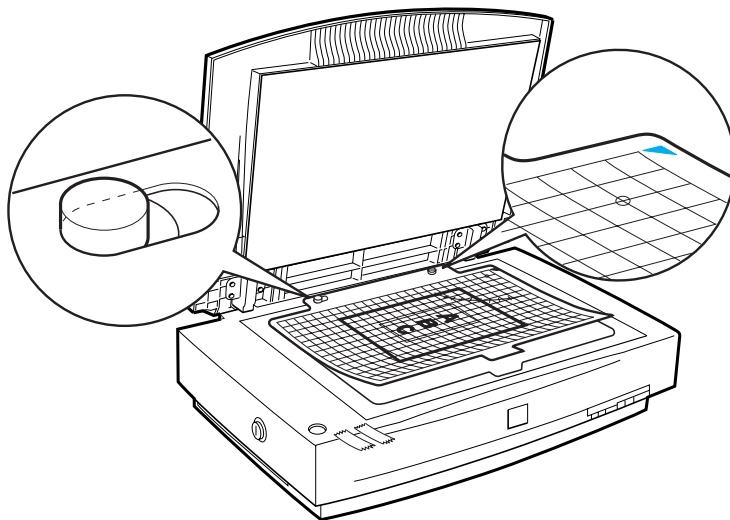
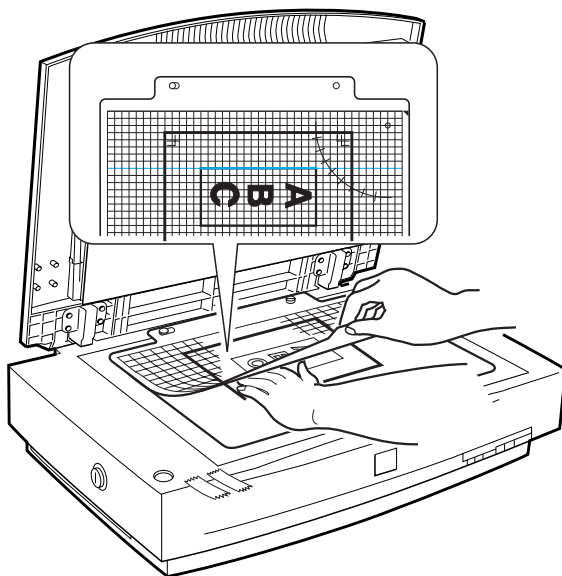
1 **角度調整済みの原稿ガイド（グリッド）をスキャナから外します。**

2 **原稿ガイド（クリア）をスキャナにセットします。**

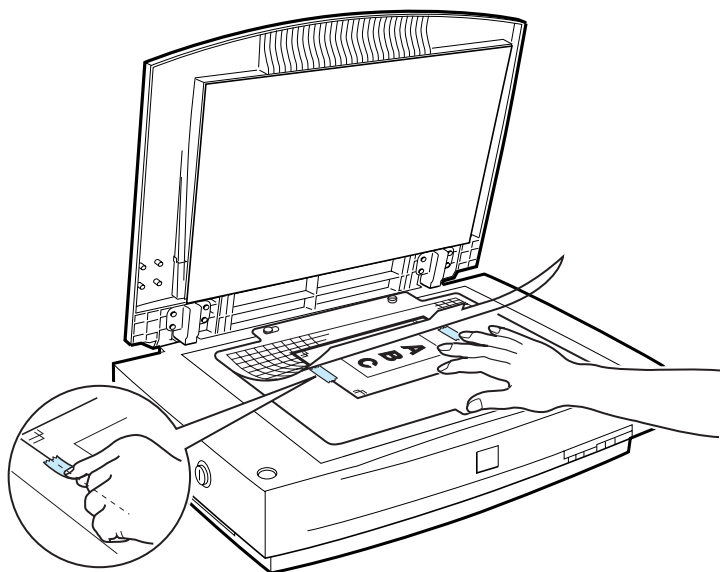
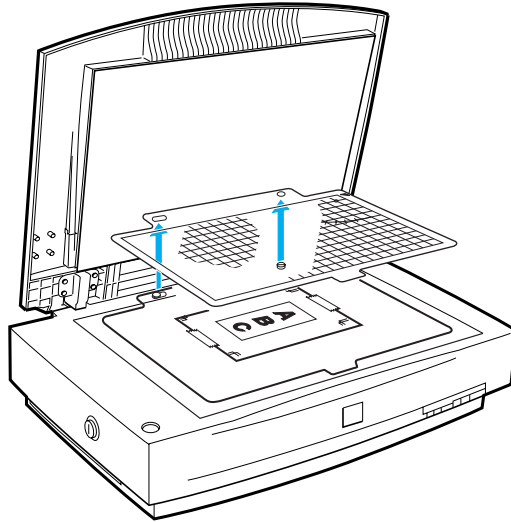
原稿ガイドの長穴が、ガイドピン側になるようにセットしてください。

3

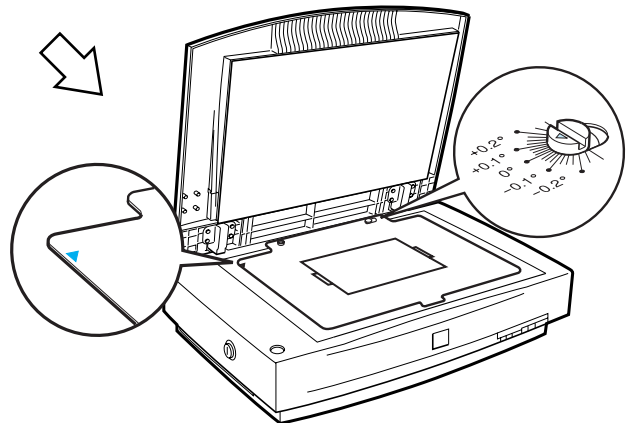
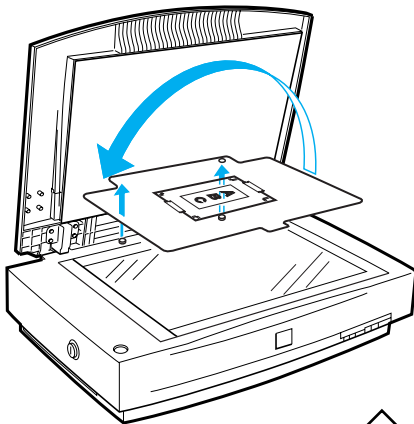
原稿の取り込む面を上に向け、原稿ガイド(クリア)の上の適当な位置に置きます。

また、原稿を固定するためのテープを 2 枚以上切り、スキャナに貼っておきます。

4

原稿のさらに上に、原稿ガイド(グリッド)を再セットします。

原稿ガイドの長穴が、ガイドピン側になるようにセットしてください。

5 **原稿と原稿ガイド（グリッド）の間に手をはさみ、原稿上の直線（またはトンボ）と、原稿ガイド（グリッド）のグリッド線がぴったり重なるように、原稿の位置を調整します。**

6 **原稿の位置を調整したら、反対の手を使い、原稿と原稿ガイド（クリア）をテープで貼り付けます。**

テープは、最低 2 ヶ所に貼ってください。

原稿ガイド(グリッド)を静かに外します。

8

原稿ガイド(クリア)を外し、裏返して(原稿の取り込む面が下を向くように)再セットします。

スキャナの原稿カバーを静かに閉じます。

EPSON TWAIN Proで画像を取り込みます。これで直線などをまっすぐ取り込めます。

取り込みの詳しい手順については、スタートアップガイドをご覧ください。